

私のカルテ

No 4 1 8

男性の3人に1人!?～鼠径ヘルニアについて～

津島市民病院
外科医師

手嶋浩也

鼠径ヘルニアとは

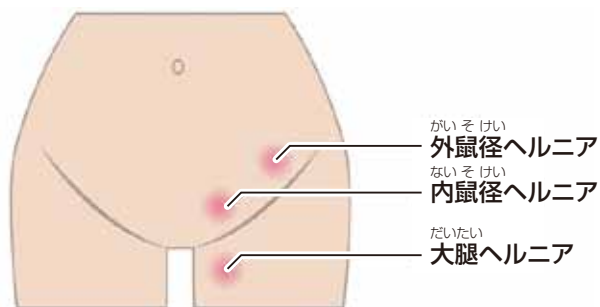
ヘルニアといえば腰の病気というイメージがあるかもしれませんが、元々ヘルニアは「とび出ている」という状態を表す言葉です。鼠径ヘルニアは腸がお腹の中からとび出した「脱腸」という状態で、足の付け根あたりがぼこっと膨らんでくるのが特徴です。男性に多いですが、男女どちらでもなる可能性のある病気で、治療方法は手術しかありません。

原因、症状は？

大人と子どもで原因は違います。大人の場合は歳をとって腹部の組織が弱くなるのが原因となります。長時間の立ち仕事や、便秘、咳といったお腹に力が入る行為が原因となる場合もあります。子どもの場合は先天的になる場合がほとんどです。

よくある症状

- ・足の付け根、陰のうが膨れる
(ピンポン玉ぐらい～卵ぐらいと大きさは様々)
- ・手で押し込んだり、横になると消えてしまう
- ・下腹部にときどき痛みが走る



放置するとどうなる？

しばらくは放置しても症状は出ない場合が多いです。しかし徐々に大きくなってくると、痛みがでたり、膨らみを押し込んでも元に戻らなくなったりします。元に戻らない嵌頓状態になると、腸の血流が悪くなり壊死を引き起こす可能性があります。命にかかわることもあり、緊急手術で腸切除が必要となる場合もあります。基本的には見つけた時点での手術をお勧めします。

手術方法

鼠径部切開法(皮膚を直接切る方法)と腹腔鏡下手術(カメラでお腹の内側から治す方法)があります。どちらも2泊3日もしくは3泊4日の入院で行います。当院では年々、痛みが少なく、傷が小さい、再発率の少ない腹腔鏡下手術の件数が増えています。

腹腔鏡下ヘルニア手術

臍とその左右に3つ、ポートという細長い管をいれ、二酸化炭素でお腹を膨らませます。細長いカメラと器具を使ってお腹の中から治療をしていきます。ヘルニア門(腸がでてくる孔)を内側から観察し、腹膜を切開し、メッシュという網目状の人工物を広げるスペースを作ります。メッシュをヘルニア門に十分に被さるように置き、タッカーと呼ばれる特殊なネジで固定します。最後に腹膜を吸収糸で閉鎖して手術は終了です。

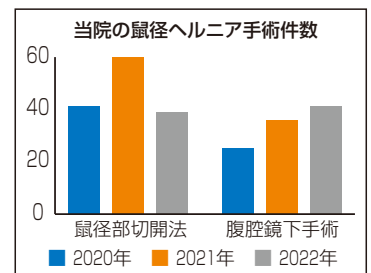
以下に腹腔鏡下手術の利点、欠点を説明します。

【利点】

- ・術後の痛みが少ない
- ・社会復帰がはやい
- ・傷が小さい
- ・再発率が低い

【欠点】

- ・全身麻酔が必要
(心臓、肺が悪いとできない)
- ・下腹部の手術歴があるとできない
- ・値段が高い
(3割負担で15万円程度、鼠径部切開法8万円程度)



最後に

鼠径ヘルニアは毎年15万人程度の方が手術を受けており、男性の3人に1人がかかる病気とされています。鼠径部の痛みや膨らみ、違和感などの症状がある方は、気軽に当院一般外科を受診してください。

